

# BSE対策の見直しについて

平成25年5月 食肉検査部門

厚生労働省は、4月からBSE検査対象月齢を30か月齢超に引き上げましたが、7月にも48か月齢超へと引き上げを行う方針を固めました。もう一度、BSEについておさらいしましょう。

(1) BSEってなんだっけ？



BSEってなんだっけ？

牛海綿状脳症と呼ばれる病気で、牛の脳がスポンジ状になるよ。



へー。何が原因なの？

異常プリオンというたんぱく質で、脳・脊髄・回腸遠位部などに蓄積するよ。(これらをSRM(特定危険部位)といいます)



人がそれを食べるとどうなるの？

クロイツフェルト・ヤコブ病といって、同じような病気になる可能性が示唆されているよ。



日本の牛で出たことはあるの？

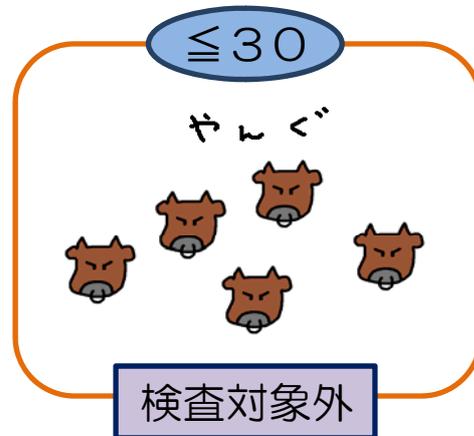
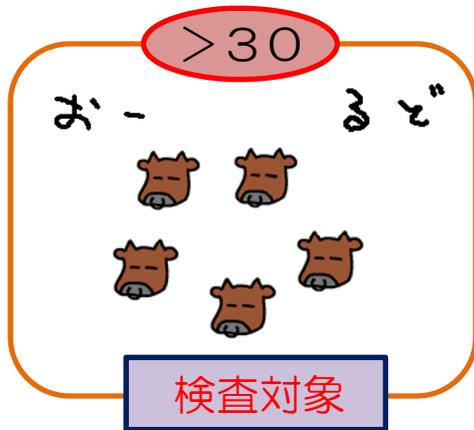
今までで36例発見されているよ。でも、牛に肉骨粉を与えることを禁止した結果、近年生まれた牛からは発見されていないんだ。



京都市では、①すべての牛に対し、BSEスクリーニング検査を実施(5月現在) ②すべての牛のSRMを廃棄、焼却することによって、BSE対策を行っています。

(2) 実際に何がかわるの？

- ① 4月からBSE検査対象が21か月齢以上から30か月齢超に。  
ただし、5月現在は全頭検査を継続中。



- ② 7月から、BSE検査対象が30か月齢超から48か月齢超に  
なる見通し



一般的に肉用の和牛は30か月齢前後で出荷され、京都市と畜場では、**1.6パーセント(平成24年度)**がBSE検査の対象となります。

☀️ 検査しなくても安全なの？ ☀️



☆国の食品安全委員会は、48か月齢以下の牛については、検査しなくても、人への健康影響は科学的に無視できると評価しているよ。

つまり、それらの牛から感染する可能性はないに等しく、安全だと言えるね。

今月末には、国際獣疫事務局(OIE)により、国際的にも、日本がBSE清浄国として認定されるよ。